

平成16年度事務事業評価シート

事務事業名	わかぐさ公園こどもプール管理運営業務	シート整理番号	139
担当部署	社会教育 部 体育 課 管理 係	所属コード	754000
記入者	村木 寿勝 (内線 617)	会計コード	10000
記入日	平成 16 年 7 月 26 日	事業コード	02 0000
事業開始の経緯	(開始のきっかけ) 市内唯一のこども(小学生以下)専用プールとして、平成3年7月にわかぐさ公園内に開設された。		
これまでの取組経緯	(これまでの取組の流れ) 平成7年度、幼児用プールの給排水管改修 平成10年度、流水プール、幼児用プールの塗装およびシーリング材改修を実施 塗装...810㎡、シーリング材改修...227.2㎡ 平成16年度、表面の荒れたプールサイド床材インターロッキングを撤去し、プールサイド全面を樹脂モルタル舗装に改		

1. 事務事業の概要			
(1) 事業の位置付け			
総合長期計画上の位置付け	章	2 学び楽しむ伝統・文化の街	
	節	(2)文化・スポーツの振興	
	施策分野	スポーツ・レクリエーション	
根拠法令等の有無	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	法令名:	スポーツ振興法第13条、青梅市体育施設条例
関連計画の有無	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	計画名:	
関連部署	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	部署名:	
事業区分	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業 <input type="radio"/> ハード事業 <input type="radio"/> 内部管理事務 <input type="radio"/> 施設維持管理 <input type="radio"/> その他 ()		
事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度事業		
	<input type="radio"/> 複数年度事業 (<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度)		
(2) 事業のねらい			
対象	(この事業によってサービスを受けたのは誰(何)か?) 幼児から小学生までの子供とその保護者		
事業目的	昨年度の目的	(この事業によってどのような状態を目指すのか?) 夏季の期間、幼児と小学生に水に親しむ場を提供して、楽しんでもらう。	
	最終目的	夏季の期間、幼児と小学生に水に親しむ場を提供して、楽しんでもらう。	
(3) 事業の内容			
事業内容	(この事業によって提供されたサービスの内容) 水泳場開場期間 7月12日から8月31日までの51日間、利用料金(2時間) 小学生以下40円、付き添い100円 水泳場開場時間 午前10時から午後6時までの8時間、(延長1時間) 同上 20円、同上 50円 水泳場規模 流水プール(ステンレス造) 100m×5m、水深0.6m 利用時間 2時間以内(延長1時間ごと) 幼児用プール(ステンレス造) 丸型 直径6m、水深0.1m~0.3m		
(4) 事業手順			
事業手順・手法	(この事業の活動手順(時系列)) 市と業者との間で水泳場管理運営委託契約を締結 水泳場の水道・ガス開栓、電気の通電 市と業者との間で業務打合わせ 受託業者によりアルバイト雇用・プール清掃・プール水張り 水泳場の開場 業者による開場期間中の水泳場の管理・運営 プール開場(清掃・片付け) 水道・ガス開栓、電気停止 水泳場利用者数・利用料金・開場日数等集計 水泳場管理運営委託料の支払い 水泳場の水道・下水道料、ガス使用料、電気料の支払い <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託(監視員・看護師等の配置) <input type="checkbox"/> その他()		
2. 評価指標の設定			
活動指標 (事業内容の数値化)	指標名	単位	説明・計算式
	開場日数	日	7月の第2土曜日から8月31日まで
	運営時間	時間	1日8時間×開場日数
成果指標 (目的の数値化)	延べ利用者数	人	開場期間中における利用者数の実績
	プール稼働率	%	夏季利用時間(臨時休場日を除いた時間)÷夏季運営時間×100

3. 実施結果の整理							投入コスト	
(1) 投入コスト・財源内訳							■ 直接事業費小計 ■ 人件費小計	
直接事業費	(水泳場管理運営委託料)	千円	12,915	11,880	13,283	13,533		
	(水道・下水道料)	千円	2,677	2,076	2,342	2,342		
	(電気料・ガス使用料)	千円	801	868	806	806		
	(警備委託料)	千円	426	426	423	423		
	(修繕料)	千円	202	477	515	515		
	(設備保守点検委託料ほか)	千円	146	181	219	219		
	小計	千円	17,167	15,908	17,588	17,838		
人件費	正規職員投入人員	人	0.04	0.04	0.04	0.04		
	正規職員人件費	千円	353	353	353	353		
	臨時職員投入人員	人						
	臨時職員人件費	千円						
	小計	千円	353	353	353	353		
総事業費	千円	17,520	16,261	17,941	18,191			
財源内訳	国庫支出金	千円						
	都支出金	千円						
	市債	千円						
	その他特定財源	千円	939	685	879		949	
一般財源	千円	16,581	15,576	17,062	17,242			
市民1人当たりコスト(総事業費/人口)	千円	0.12	0.12	0.13	0.13			
1単位当たりコスト(総事業費/単位)	千円	1.30	1.67	1.38	1.30			
単位(延べ利用者数)	人	13,466	9,738	13,000	14,000			
(2) 指標に関する実績値								
指標名			H14年度実績	H15年度実績	H16年度見込み	H17年度目標	最終目標	
活動指標	開場日数		50.00 日	51.00 日	53.00 日	54.00 日	55.00 日	
	運営時間		400.00 時間	408.00 時間	424.00 時間	432.00 時間	440.00 時間	
成果指標	延べ利用者数		13,466.00 人	9,738.00 人	12,300.00 人	13,300.00 人	14,300.00 人	
	プール稼働率		96.00 %	72.50 %	90.60 %	90.70 %	90.90 %	
指標の推移に関する補足説明			屋外プールのため、実利用者数、プール稼働率とも天候に左右される。					

4. 事務事業の振り返り	
要 点 の 検 査	(1) 事業の対象(市民等)や取り巻く環境の変化により、事業のニーズが薄れていませんか？ <input checked="" type="radio"/> 薄れていない <input type="radio"/> 薄れている <ニーズの具体的内容、データの根拠等からの判断理由> こども、特に幼児用プールとして親しまれている。
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響は大きいですか？ <input checked="" type="radio"/> 大きい <input type="radio"/> 小さい <影響の内容や度合いなどからの判断理由> 幼児を持つ親や小学生低学年の子供が大いに落胆すると思われる。
	事務事業の最終目的を達成しましたか？ <input checked="" type="radio"/> 達成していない <input type="radio"/> 達成した <残されている課題や今後期待される成果などからの判断理由> 昨年は雨の日が多く、気温の低い日が続いたため、休場日が多く、利用者数が少なかった。
	(2) 活動指標の目標達成状況は順調ですか？ <input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 順調ではない <目標達成状況の具体的内容と問題点> 毎年、このプールの開場期間を7月の第2土曜日から8月31日まで、また、1日の運営時間を午前10時から午後6時までの8時間としているため。
	成果指標の目標達成状況は順調ですか？ <input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 順調ではない <目標達成状況の具体的内容と問題点> 小学生も利用できるが、幼児用プールという印象が強く、幼児を持つ親に人気があると思われる。
	事務事業の昨年度の目的は達成できましたか？ <input type="radio"/> 達成できた <input checked="" type="radio"/> 達成できていない <事務事業を実施したことによる成果の内容・理由> 昨年は雨の日が多く、気温の低い日が続いたため、休場日が多く、利用者数が少なかった。

(3) 実 施 内 容 方 法 の 点 検	市民1人当たりコスト、あるいは、1単位当たりコストの額は妥当ですか？ <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 妥当ではない
	<額に関するコメントと判断理由> 少子化の状況を見ると、利用者1人当たり約1,300円は、やむを得ないと思われる。
	他の自治体や民間との比較の中で、より低いコストで事業を実施できませんか？ <input checked="" type="radio"/> 実施できない(検討の必要なし) <input type="radio"/> 検討の余地がある <input type="radio"/> 実施は可能である
	<他の自治体や民間との比較にもとづく判断理由> すでに、民間会社に委託している状況であり、これ以上のコスト削減は、監視員等人員を減らすことになり、安全度の低下に繋がる。
	サービスの受益対象者全体からみて、受益が特定の個人・団体に偏っていませんか？ <input checked="" type="radio"/> 偏っていない <input type="radio"/> 偏っている
	<偏りの内容や度合いの分析からの判断理由> こども専用プールであるが、特定の個人・団体に偏ってはいない。
	受益者負担を実施していますか？ 実施している 受益者負担の具体的内容 2時間以内、小学生以下40円、付添い100 収入総額 683 千円 <input checked="" type="radio"/> 見直す余地はない <input checked="" type="radio"/> 負担額を見直す余地がある
	実施していない <input type="radio"/> 受益者負担は求められない <input type="radio"/> 受益者負担を検討する余地はある
	<受益者負担に関する判断理由> プール開設以来14年間、利用料金改定をしていない。
	類似事業との統合可能性はありますか？ <input type="radio"/> すでに類似事業と統合済み <input type="radio"/> 類似する事業はない <input checked="" type="radio"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input type="radio"/> 類似する事業と統合可能
	<統合可能性に関する判断理由と統合可能性のある類似事業名> 他の市営プールにも、幼児用プールはあるが、流れるプールで浅いプールがあるのは、このプールだけである。
	民間やNPO等のサービスに任せることはできませんか？ <input checked="" type="radio"/> すでに民間に委託済み <input type="radio"/> 民間に任せることはできない <input type="radio"/> 検討の余地はある <input type="radio"/> 任せることは可能である
	<民間への委託方法、もしくは、民間には任せられない理由>
	事務事業の魅力向上のために工夫できることはありませんか？ <input type="radio"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="radio"/> 工夫の余地はある
	<工夫の内容と判断理由> 開場期間の延長は、できる。(9月中旬ごろまでは、暑い日が続くため。)

(4) 特記事項

5. 事務事業の改善提案

すぐにできる改善提案	開場期間の延長(9月中旬まで)、利用料金改定の検討
中長期的な視点で取り組む改善提案	特になし

6. 総合評価

(1) 1次評価

評価者名	体育課長 平岡 政男
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 廃止(年後を別途) <input type="radio"/> 休止(年後を別途) <input type="radio"/> 終了(年後を別途)
改善の内容	<input type="checkbox"/> 事業のねらい(対象) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容 <input type="checkbox"/> 事業手順 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値 (<input checked="" type="radio"/> 増加傾向 <input type="radio"/> 減少傾向) <input checked="" type="checkbox"/> コスト (<input type="radio"/> 増大 <input checked="" type="radio"/> 削減)
総評	わかぐさ公園に隣接し、周囲の人口も増加していることから立地条件が良い。平成16年度においてプールサイドの改修も完了して利用者増加が見込まれている。 春から秋のプール開場以外の期間を親水施設として利用できないか検討する必要がある。

(2) 2次評価

評価者名	青梅市行政評価プロジェクトチーム
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input checked="" type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 廃止(年後を別途) <input type="radio"/> 休止(年後を別途) <input type="radio"/> 終了(年後を別途)
改善の内容	<input type="checkbox"/> 事業のねらい(対象) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容 <input type="checkbox"/> 事業手順 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値 (<input checked="" type="radio"/> 増加傾向 <input type="radio"/> 減少傾向) <input checked="" type="checkbox"/> コスト (<input type="radio"/> 増大 <input checked="" type="radio"/> 削減)
総評	幼児から小学生とその保護者の夏のプールとして定着している。平成3年の開設以来、利用料金の改定をしていないので、同様の施設とともに検討の必要があると思われる。今後、閉場時の親水施設としての利用等、最少の経費で子供達が安全に楽しめる魅力ある施設として検討することも必要である。